

# 道徳科学習指導案

指導者	弓場 拓郎 (T1) 向井 大 (T2)
教材名	美しい鳥取砂丘
主題名	規則の役割
内容項目	C- (10) 遵法精神, 公德心
学年・組	2年2組 (男子15名 女子13名 計28名)
場 所	2年2組教室

## 主題観

人間が集まって社会が形成されると、「私」と「私」の利益がぶつかり合って集団のまとまりがなくなり、結局一人一人の願いが実現できないことがある。この集団に秩序を与え、摩擦を最小限にするためにあるのが「法やきまり」である。社会の秩序と規律を守ることによって、個人の自由が保障されるということを理解することが大切である。そして、自分の欲望のままに生活することを制限するものとして法を捉え、仕方なく法に従うのは進んで守るということではない。遵法精神は、公德心によって支えられている。公德心とは、社会生活の中で、守るべき正しい道としての公德を大切にしている心であり、住みよい社会の実現のためには欠かせないものである。

本教材「美しい鳥取砂丘」では、国の天然記念物に指定されている鳥取砂丘に、景観を損ねるような落書きが頻繁にされている現状がある。落書きに出くわした主人公「私」の家族がどうしたら落書きをなくせるだろうと考えた時、すでに落書きを規制する条例があることを知る。条例ができて落書きがなくなる問題解決する方法を生徒が話し合う中で、法や公德心について考えるのに適した教材である。

## 生徒観

本学級の生徒は、グループ活動を協力的に進めることができたり、仲間の言動に対してあたたかく反応したりできる雰囲気がある。事前アンケートの結果によると、「道徳科の授業では友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり広げたりしている」と肯定的回答をした生徒は96%であり、対話の中で自分の考えを深めたり広げたりすることができている。

調和した社会生活や安全で安心な集団生活のためには、法やきまりが必要であることは生徒に周知しており、理解している生徒も多い。また、事前アンケートの結果によると、「学校のきまりを守っている」と肯定的回答をした生徒は96%であり、実際に教師から見てもきまりを守っている生徒は多い。しかし、一部の生徒から「ルールだから守らないといけない」といった発言を聞くこともある。自己の自由や権利を束縛するものとしてきまりを捉え、仕方なくきまりに従い、進んで守るという段階に到達していない生徒も在籍している。

事前アンケートの結果

質問内容	肯定的回答
道徳科の勉強は好きだ	82%
道徳科の勉強はためになると思う	92%
道徳科の授業では、自分のことを振り返りながら考えている	89%
道徳科の授業では友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり広げたりしている	96%
道徳科の授業で勉強したことを、自分の生活にいかしている	82%
学校のきまりを守っている	96%

## 指導観

自己の自由や権利を束縛するものとしてきまりを捉え、仕方なくきまりに従い、進んで守るという段階に到達していないという現状を踏まえ、条例ができて落書きがなくなる状況の解決策を考える中で、きまりの拘束力ではなく、善良な意思で自己をコントロールし、きまりを進んで守ろうとする態度を育てたい。また、きまりを強化しても一人一人の善良な意思がなければ社会は成立しないことも気づかせたい。話し合い活動が罰則やきまりを強化するという視点で進むことが予想されるため、落書きをしている人の心情に目を向けさせたり、罰則やきまりに囲まれた状況をどう感じるか考えさせたりするなどして、生徒の思考を整理していきたい。

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

互いに住みよい社会を目指す精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。

### (2) 評価

社会には法やきまりが守られない状況があるが、知恵を出し合って粘り強くよい方向に改善していこうとする視点での発言や記述が見られる。(授業での発言とノートへの記述で評価)

### (3) 本時の学習展開

	学習活動	主な発問と活動 予想される生徒の反応	指導上の留意点 発問の意図 手立て
導入 5分	1. 教材について関心をもつ。	○鳥取砂丘について話をする。	
展開1 10分	2. 教材の状況について理解する。 ・範読を聞く。 ・状況を確認する。	○なぜ砂丘に落書きをしてはいけないのだろうか。(ペア) ・天然記念物だから。 ・落書きで景観が損なわれて観光が楽しめない。 ○落書きをしている人はどのような気持ちで落書きをしているのだろうか。(ペア) ・自分たちが楽しければいい。 ・天然記念物はみんなのものという意識がない。 ・砂だからかってに元に戻るから大丈夫。	・落書きをしている人が自己中心的で規範意識が低いことをおさえる。
展開2 20分	3. 鳥取砂丘の問題を解決する方法を考える。 ・個人で考えて付箋に記入する。 ・考えたことを班で交流し、検討しながらグループングする。	◎この問題を解決するためにはどうすればよいだろうか。(個人→班) ①きまりの強化 ・罰金を高くする。 ・巡回をする。 ②良心への働きかけ ・看板を設置する。 ・呼びかける。 ③一人一人の善良な意思 ・きまりを守る強い気持ちをもつ。 ・みんなのために守るという気持ちをもつ。	・きまりの強化を重視した話し合いになっている場合は補助発問をしながら視点を広げさせる。
展開3 10分	4. 道徳的価値を深める。 ・考えた解決策をもとに深める。 ・全体で発表する。	○このような問題が起こらないようにするためにはどのような考え方が必要だろうか。(班) ・きまりがあるから仕方なく守るのではなく進んで守る。 ・みんなのことを考えてきまりを守る。 ・きまりを強化しても一人一人の良心がないと成り立たない。	・きまりの拘束力ではなく、善良な意思で自己をコントロールし、一人一人の善良な意思がなければ社会は成立しないことに気づかせる。
終末 5分	5. 生活に結びつけ、自分のこととして考える。 ・個人で考えてノートに記入する。	○感じたことや考えたこと、今後どのようにいかしていくか。	・普段どんな気持ちで社会や学校のきまりを守っているか振り返りながら記入させる。

(4) 板書計画

<p>自分に +1</p>	<p>生徒の意見</p>	<p>生徒の意見</p>	<p>考えて みよう</p>	<p>○どのような気持ちで落書きをしているのか</p>	<p>写真</p>	<p>写真</p>	<p>美しい鳥取砂丘</p>
<p>感じたことや考えたこと、今後どうのよう にいかしていくか。</p>	<p>生徒の意見</p>	<p>生徒の意見</p>	<p>この問題を解決するためにはどうすればよ いか。</p>	<p>○なぜ落書きをしてはいけないのか</p>			
	<p>生徒の意見</p>	<p>生徒の意見</p>	<p>このような問題が起こらないようにするた めにはどのような考え方が必要か。</p>				